

2022年4月1日

各位

2022年度入社式社長挨拶（要旨）

皆さん、こんにちは。社長の八木です。
本日は、入社、誠におめでとうございます。
新たに35名の仲間をお迎えできることを大変嬉しく思います。
日産化学グループ2,500名を代表し、心から歓迎の意を表します。

〈Vista2021の総括〉

Vista2021の6年間を部門別に振り返ると、化学品部門では、2016年に主力のアンモニア製造の原料をナフサから天然ガスに転換し、温室効果ガス削減と収益構造を改善しました。また、60年近い歴史を持つメラミンの生産停止を決定、高付加価値製品への更なるシフトを鮮明にしました。

機能性材料部門では、ディスプレイ材料、特にスマートフォンなどデバイス向けに広く用いられている光IPSモードが大きく伸長しました。半導体材料は、デジタル通信需要の世界的増加を背景に好調を維持しております。無機材料では、ゾル製品が環境対応の自動車排ガス処理触媒用途等で伸びています。

農業化学品部門では、動物用医薬品原薬フルララネルの海外製品展開が順調に拡大、自社開発の水稻用除草剤アルテアも着実に販売を伸ばしました。また、広範囲の害虫に有効な殺虫剤グレーシアの発売を国内外で開始したほか、殺菌剤事業を買収し製品ポートフォリオを充実させました。加えて、農薬原体の需要増加に対応し安定供給体制を確立するため、2020年にインドに合弁会社を設立、本年夏の工場稼働を目指しています。

ヘルスケア部門では、ファインテック事業において高付加価値ジェネリック原薬の受託を伸ばした他、新規核酸医薬品の創出、特殊ペプチドを用いた創薬といった、新たなモダリティにおける事業化テーマとして独自のプラットフォームを構築する戦略で研究開発を進めています。

ESG関連では、2030年度までに地球温暖化ガスを2018年度比30%削減する長期目標の設定、そして一人ひとりの才能を尊重する「ダイバーシティステイトメント・ダイバーシティビジョン」の策定等、様々な施策を推進してきました。

以上の通り、グループ全体として着実に成果を積み重ねてきました。

〈新たな高みに向けて〉

私たちは立ち止まることなく、社会課題に応え続ける未来創造企業として、新たなステージに向

けて踏み出し続けなければなりません。今年、2050年に視座を高めた新長期経営計画と2027年にむけた新中期経営計画を始動する年となります。当社グループが進むべき道と一人一人の役割を明確に認識、共有し、新たな高みに向け、未来創造企業を皆さんとともに切り拓いていきましょう。

【新入社員へのメッセージ】

次に、社会人としての第一歩を踏み出す皆さんに、日産化学の一員として、心がけて欲しいことを3つお話しします。

1. 誠実

まず一つ目は、「誠実であること」です。これから皆さんは各職場に配属されますが、自らの足で現場に足を運び、自らの眼で多くの現象やデータに直接触れ、様々な角度から分析や洞察を重ねてください。「技術の前では皆平等」という言葉があります。上司も部下も関係なくフラットに安心して議論できる組織文化のなかで、疑問の投げかけ、アイデア・提言の発信を習慣化してください。また、人を信じ尊重すること、誰かのために努力すること、この様な行動姿勢、振る舞いとしての「誠実さ」は、日産化学に連綿と続くDNAであり、アイデンティティです。倫理感とコンプライアンスに通じる部分でもありますが、正しく美しく仕事をする社会人になってください。

2. 志で踏み出す

2つ目は、「志で踏み出す」です。「私たちこそが未来をつくる主体になる」という意志と、「こういう未来をつくりたい」という強い思いや豊かな想像力を持ちましょう。歴史が人々の意思の集積であるとするならば、今後訪れる環境変化に対して、先手を取って仕掛けていく者こそが、未来を方向付けていくこととなります。行動面において大切なのは、前例にとらわれないこと、従前の常識（定説）を疑うこと、そして失敗を恐れず、愚直に試行錯誤を繰り返すことです。

3. 共創

そして3つ目は、「ともにつくる、共創」です。共創とは、互いを尊重するなかでも異なる意見をときには勇気をもって戦わせることであり、異なる個性や才能がシナジーを生み、その過程においてまったく新しい価値を生み出すことです。目指すべきところで同志と本質で一致し、情熱・思いが共有されていれば共創によるイノベーションの実現が可能であると考えています。

【最後に】

最後になりましたが、私は、社員全員が未来創造企業としての社会的存在意義を追い求め続けることにより、社員一人ひとりの「働きがい」が「生きがい」へ結びつく会社になりたいと思っています。「変革に挑戦する強い情熱を持ちましょう。」という熱い歓迎の気持ちをお伝えして、私の挨拶とします。入社、誠におめでとうございます。

2022年4月1日
代表取締役 取締役社長 八木 晋介

本件に関するお問い合わせ先

日産化学株式会社 経営企画部 広報室
(東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング)
TEL:03-4463-8123